

「いざ」という時に強い味方、アプリ配信

杉並区は、11月1日から防災地図アプリ「すぎナビ」の配信を開始します。このアプリは、普段は通常の地図アプリとして活用できますが、何と言っても災害時に強い味方となります。その強みは、災害時に通信が途絶えたオフライン状況でも使用できること、さらに利用者が写真を投稿し、地図上で共有することができることです。この写真投稿から、災害時に安全な避難経路を導くことができ、家族の命、みんなの生命・財産を守ることが期待されています。

杉並区では、東日本大震災以降、首都直下地震に備え様々な防災対策に取り組んでいます。その一つが、このアプリの開発です。災害時に最も大切なのが情報の収集と適切な提供です。区担当者による情報収集には限界があります。

よく使われる「自助・共助・公助」の言葉を引用すれば、災害時に先ず自分の安全を確保する「自助」として、このアプリを利用して、近隣の避難所などを確認することが可能です。次に「共助」として、住民同士の助け合いが重要です。このアプリには、写真投稿機能が付いています。災害時に限定されますが、火災の発生や橋の崩落、倒木、道路冠水など被害状況を画像で地図上に示すことができます。ただし、災害対策本部等に集められた情報については、混乱を招くことがないように、信頼性の高いもののみ公開していきます。

災害は地震だけではなくありません。局地的大雨や台風など比較的頻度の高い災害も起こります。普段からこのアプリを利用して公共施設案内や様々な地図を閲覧することで、いざという時にも活用できます。

◆年度別災害対策本部・救援本部設置状況（27年度は、10月28日現在）

項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
大雨	5回	5回	3回	6回	12回	4回
地震	1回	0回	0回	0回	0回	0回

防災地図アプリ「すぎナビ」は、災害時の情報提供の切り札と考えているものです。11月1日から、無料



App Storeから「すぎナビ」で検索



Google playから「すぎナビ」で検索



Google Play, Google Play ロゴは、Google Inc. の商標です。

ダウンロードが可能です。首都直下地震は、明日起こるかもしれません。その「いざ」という時に、情報を得ることができる、その情報を提供することができるアプリです。地図情報は、杉並区に限定したものではありませんので、区外での状況も投稿可能です。こうしたことが、多くの人々の生命・財産を守ることに繋がっていくと考えています。

そのためには、なるべく多くの利用者を得て多くの情報提供が必要になります。また、全国の自治体で初めて民間警備会社のSNSからの情報収集力を活用し、情報提供を行うことで、さらに機能強化を図るとともに、被害情報をオープンデータとしても公開していきます。

【問い合わせ先】 危機管理室防災課 03-3312-2111 内線 3602
都市整備部土木管理課 内線 3406